

学ぶココロが動き出す テスト問題ってどうやってつくるの？

テストって、誰が何のためにつくるのでしょうか。どれだけ記憶しているか、どれくらい解けるのか——大人側が知るため？「アタマ」の部分だけを測るため？一方、問題を見た瞬間に「え？何これ！」「おもしろそう！」「こうしてみようかな。ふふふ」と、子どもたちが「ココロ」を動かし始めるテスト問題があるといいます。それはどのようにつくられるのか？朝日新聞「わかるわかる運動」が日能研に聞いてみました。

あ！
よくママが見てる
アノ黄色いチラシ？

ん？
夏ミカン、トマト、ナスは
なんで目立つように
してるのかな？

ん？
最後の1ケタが
みんな8だ…
なんでだろう？

次のチラシは、N町にある青果店(野菜や果物を売ってお店)のチラシです。

夏ミカン 1ぶくら 298円	トマト 1こ 98円	ナス 1ぶくら 198円
ピーマン 1ぶくら 138円	キュウリ 1本 48円	オクラ 1ぶくら 188円
		アスパラガス 1箱 228円

(1) 買う人の立場に立つと、このチラシからどのようなことを読み取れるでしょうか。次のア～エの中から、このチラシから読み取れることをすべて選び、記号で答えましょう。
ア この店の名前は「青山青果店」です。
イ 6月13日～15日の間、トマトは1こ98円で売られています。
ウ 6月13日～15日の間、オクラ1ぶくらの値段はアスパラガス1箱の値段より高いです。
エ 6月13日～15日の間、500円あれば、ナス1ぶくらとピーマン1ぶくらを買うことができます。

(2) チラシを見ると、「298円」「98円」「198円」の3つの値段がほかのどの文字よりも大きく書かれています。売る人がこれら3つの値段をほかの文字より大きく書いたことには、どのようなねらいがあると考えられますか。ねらいを1つ考えて説明しましょう。

ん？
なんだか手で
書いたような字…
やさしい感じが
するな。

「りんご?」「りんご?」
…どうしてひらがな?

ん?
なんで値段が
小さめなのかな?
……え!? 高っ!

ん?
どんな
りんごジュースなのか
わかりやすい…
あ! 絵があるからか…

こっちはどこで
作ったのがわかる!
レアものっぽい!

問い | 二つのチラシのちがいや工夫しているところは？

“状況”に対する「!」「?」—— 自分の答えをつくる

未知で不確かな「未来」。答えがない問題に、この先、「アタマだけ」で立ち向かえる？過去の成功や今日の最新を「記憶」して、それを使う。その成功や最新を未来でも——ずっと使えるとは思えない……。未来に必要なのは、自分を前に向かわせるのは、自分自身の強い意志と意図。誰にでも使える均質な「答え」はなく、一人ひとりが、ときどきの“状況”の中で、自分の「答え」をつくる。ならばいま、テストも「アタマ」だけを測るテストではなく、「状況」の中で「ココロ」を動かしながら「自分の答えをつくる」テストでありたい。そんなテストをつくりたい——日能研の強い願いです。

上に掲載したのは前回の「日能研全国テスト(小学4年生)」の一題。そこにある広告も、おやつに食べた秋の果物も、風にあおられて飛んでいるビニール袋も……、

日常の中には、ココロが動く「状況」がいっぱい。「ふたつの広告の工夫?」——比べる。気づく。「あ、これ黄色い紙とかのヤツ?」——モノクロの問題が色づき始める。広げる。深める。「ちょっとまって!」「なんで? どうして?」「じゃあ、ワタシはね」「ボクの考え、聞いて」。いまそこにある「状況=問い」に、子どもたちの学ぶココロがフル回転していきます。いまの子どもたち(=未来の大人たち)が必要とするテストは、誰かが用意した「答え」をさぐり当てるテストではない、「自分の答えをつくる」テスト。未来に必要なチカラは、「自分で(意志と意図をもって)やってみる(チャレンジする)」ことで磨かれます。

日常の「ん!」が、チームの協働で 深い「問い」になる

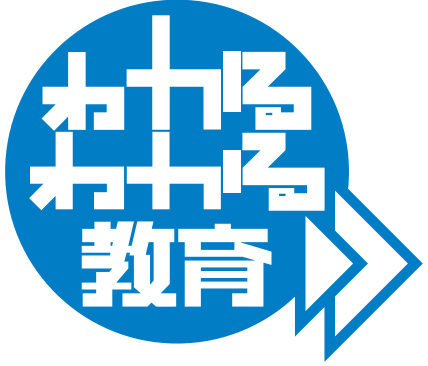
家電量販店でふと目にとまった「50インチテレビ」。……(インチ)って他にも使われている? あ、自転車はインチ

表示だな。——学校にはないけれど、子どもたちの生活の中にある(インチ)……でも、いま世界の標準はメートル? 「ん!」日常の中での発見、疑問、違和感……自身のココロが動き出した瞬間や状況を見逃さず留め、それをチームの仲間に届ける——日能研では、担当者一人ひとりの想いだけで問題を完成させるのではなく、チームで協働し、一人ひとりの専門性を生かして、テスト問題をつくっていきます。胸を張って、オリジナル問題です。

「子どもたちの身の回り(単位)で、新しい問題がつかないかな?」「(単位)は時代によって変わるよね。時の権力者が……」「(尺)や(寸)だって、日常の中にあるよ。採寸とか、巻尺とか」「鯨尺?」「……」「“だいたいこれくらい”で通じるのにね」「こしょう少々とか?」「いえ、科学の世界では(単位)は不可欠です!」「……え! 宇宙でも通用する(単位)って何?!」「昔より子どもたちの日常生活から(単位)が離れてきている気がする……」「(単位)って子どもたちにとってどんな存在?」——問題作成チームが

一つのテーブルに集い、多様な視点からみあう。一人の「ん!」がチームの対話で広がり、深まっていく——実は、子どもたちとの授業と同じ、まさに「アクティブ・ラーニング」。いたずらに見た目ばかりをおもしろくしても、奇をてらった題材にしても、子どもたちの学ぶココロは動かない——子どもたちはこの問題とどんな「対話」をしたくなる? 「楽しい!」「考える」「答える」の自由をもっと広げるには、「問題の“状況”をこうした方が、よりココロが動く?」。作問者が込めた深み、味わいがさらに磨かれ、作問者の「ん!」が、子どもたちの「!」「?」に伝播する、大人が本気でアクティブに考えた結果が、子どもの学びの刺激になる。テストが授業のように、アクティブ・ラーニングの場になる。単純な単位換算になる計算問題とはまるで違う、深い問題ができていきます。「それ知ってる」で終わらない、その子の眠っている「考える底力」を引き出し動かすテストになるのです。

日能研はこの秋も、渾身のテスト問題をお届けします。ぜひ、ご堪能ください。



なるほど!

日常の中の「ん!」を、大人が本気でチームで磨き、問いかけるんだ。
だから子どもたちは、「!」「?」とココロを動かして学べるんだね。

つながっている——私学にも、未来にも。入り口は、このテスト。

10月23日

小3 小4 小5

10月30日

小2



保護者会同時開催!

「テストから学ぶということ」「中学受験最新事情」「未来へつながる学び」についてお話しします。

テストの詳細・お申し込みは
日能研 検索
または
お近くの日能研へ!
以下のQRコードからも!
学校行事などで都合がつかない場合はどうぞお気軽にご相談ください。



日能研 全国テスト

参加無料
【科目】2科目(国語・算数)
【会場】お近くの日能研各校
【時間】1回目 9:00集合
2回目 13:00集合
※一部、教室によって開催時間が異なります。